

## 自己評価実施要項修正点（案） （平成18年度実施分）

頁 行	現行（平成17年度実施分）	頁 行	修正（平成18年度実施分）
2 22	(5) ピア・レビューを中心とした評価 ・・・・・・・・大学関係者及び法曹関係者並びに専門の事項に関し学識経験のある者によるピア・レビューを中心とした評価を実施します。	2 22	(5) ピア・レビューを中心とした評価 ・・・・・・・・大学関係者及び法曹関係者並びに専門の事項に関し学識経験を有する者によるピア・レビューを中心とした評価を実施します。
2 26	(6) 透明性の高い開かれた評価 ・・・・・・・・。また、開放的で進化する評価を目指し、評価の経験や評価を行った法科大学院等の意見を踏まえつつ、常に評価システムの改善を図ります。	2 26	(6) 透明性の高い開かれた評価 ・・・・・・・・。また、開放的で進化する評価を目指し、評価の経験や評価を受けた法科大学院等の意見を踏まえつつ、常に評価システムの改善を図ります。
3 11	(2) 評価担当者に対する研修 ・・・・・・・・。このため、評価担当者が共通理解の下で公正、適切かつ円滑にその職務が遂行できるよう、・・・・・・・・。	3 11	(2) 評価担当者に対する研修 ・・・・・・・・。このため、評価担当者が共通理解のもとで公正、適切かつ円滑にその職務が遂行できるよう、・・・・・・・・。
4 9	(iii) ・・・・・・・・。また、1つでも満たしていない基準があれば、評価基準に適合していないものとして、当該法科大学院に対して適格と認定されないことを通知し、その旨を公表します。	4 9	(iii) ・・・・・・・・。また、1つでも満たしていない基準があれば、評価基準に適合していないものとして、当該法科大学院を置く大学に対して適格と認定されないことを通知し、その旨を公表します。
5 図	<p><b>V 評価のスケジュール</b></p> <p>6～7月</p> <p>①機構による説明会等の実施</p> <p>↓</p> <p>9月末</p> <p>②評価の申請及び受付</p> <p>↓</p> <p>11～12月</p> <p>③法科大学院の自己評価担当者等に対する研修の実施</p> <p>↓</p> <p>翌年6月末</p> <p>④自己評価書の提出</p> <p>↓</p> <p>7月～翌年1月</p> <p>⑤機構における評価の実施</p> <p>↓</p> <p>1月末</p> <p>⑥評価結果(案)の通知</p> <p style="text-align: right;">評価担当者に対する研修</p>	<p><b>V 評価のスケジュール</b></p> <p>評価実施の前年度</p> <p>6月～7月</p> <p>①機構による評価に関する説明会等の実施</p> <p>↓</p> <p>9月末</p> <p>②評価の申請及び受付</p> <p>↓</p> <p>11月～12月</p> <p>③法科大学院の自己評価担当者等に対する研修の実施</p> <p>↓</p> <p>評価実施年度</p> <p>6月末</p> <p>④自己評価書の提出</p> <p>↓</p> <p>7月～1月</p> <p>⑤機構における評価の実施</p> <p>↓</p> <p>1月末</p> <p>⑥評価結果(案)の通知</p> <p style="text-align: right;">評価担当者に対する研修の実施</p>	

頁 行	現行（平成17年度実施分）	頁 行	修正（平成18年度実施分）
6 12 6 16 " "	(2) 機構に対し、評価に関する行政文書の開示請求があった場合は、 ただし、法科大学院から提出され、機構が保有することとなった行政文書の開示に当たっては、	6 12 6 16 " "	(2) 機構に対し、評価に関する法人文書の開示請求があった場合は、 ただし、法科大学院等から提出され、機構が保有することとなった法人文書の開示に当たっては、
7 15	X I 予備評価 法科大学院の開設後、初年度の入学者（3年課程）が修了以前の段階における教育活動等の状況について評価し、	7 15	X I 予備評価 法科大学院の開設後、初年度の入学者（3年課程）の修了以前の段階における教育活動等の状況について評価し、
7 24	....., 機構に対し、評価に関する行政文書の開示請求があった場合には、	7 24	....., 機構に対し、評価に関する法人文書の開示請求があった場合には、
9 15	(2) 法科大学院年次報告書の提出 ....., その旨法科大学院を置く大学に通知し、当該大学の申請に基づいて評価を実施することになります。	9 15	(2) 法科大学院年次報告書の提出 ....., その旨法科大学院を置く大学に通知し、当該大学の申請に基づいて当該事項について評価を実施することになります。
12 4	(1) 目的の意義 本評価における法科大学院の「目的」とは、教育上の理念・目的、養成しようとする法曹像等をいいます。	12 4	(1) 目的の意義 この評価における法科大学院の「目的」とは、教育上の理念・目的、養成しようとする法曹像等をいいます。
13 12	(2) 基準ごとの分析 ① .....。また、基準ごとに、ただ根拠となるデータを示すのみでなく、教育上の理念・目的等を踏まえることにより、個性や特色を表すように工夫し、記述してください。	13 12	(2) 基準ごとの分析 ① .....。また、基準ごとに、ただ根拠となるデータを示すのみでなく、教育上の理念・目的を踏まえることにより、個性や特色を表すように工夫し、記述してください。
14 1	III 自己評価書等の作成及び提出方法	14 1	III 自己評価書の作成及び提出方法
14 11	(2) 自己評価書の様式 ....., 機構のウェブサイト ( <a href="http://www.niad.ac.jp/">http://www.niad.ac.jp/</a> ) で配布している自己評価書様式ファイルにより、作成してください。	14 11	(2) 自己評価書の様式 ....., 機構のウェブサイト ( <a href="http://www.niad.ac.jp/">http://www.niad.ac.jp/</a> ) に掲載している自己評価書様式ファイルにより、作成してください。
14 15 14 16 14 17 " "	① 自己評価書は、A4縦長・横書きで作成してください。 ② 「対象法科大学院の現況及び特徴」のページ以降、中央下に通し番号を付けてください。 ③ 各ページの右上に法科大学院（研究科・専攻）名を記述してください。（表紙を除く。） ④ 「章ごとの自己評価」のページには、各ページの右上に③の法科大学院（研究科・専攻）名に加え、章の番号を記述してください。	14 16 14 18 14 19 " "	① 自己評価書は、A4縦長・横書きで作成してください。 ② 原則として、日本語は明朝体で全角、英字は明朝体で半角、一桁の数字は明朝体で全角、二桁以上の数字は明朝体で半角をそれぞれ使用してください。 ③ 「対象法科大学院の現況及び特徴」のページ以降、中央下に通し番号を付けてください。 ④ 各ページの右上に法科大学院（研究科・専攻）名を記述してください。（表紙を除く。） ⑤ 「章ごとの自己評価」のページには、各ページの右上に④の法科大学院（研究科・専攻）名に加え、章の番号を記述してください。

頁 行	現行（平成17年度実施分）	頁 行	修正（平成18年度実施分）
15 19 " 20	I 対象法科大学院の現況及び特徴 1 現況 (1) 法科大学院(研究科・専攻)名 〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻 (2) 所在地 〇〇県〇〇市 (3) 学生数及び教員数 (平成〇〇年5月1日現在) 学生数: 〇〇名 教員数: 〇〇名(うち実務家教員〇〇名)	15 19 " 20	I 対象法科大学院の現況及び特徴 1 現況 (1) 法科大学院(研究科・専攻)名 〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻 (2) 所在地 〇〇県〇〇市 (3) 学生数及び教員数 (平成〇〇年5月1日現在) 学生数: 〇〇人 教員数: 〇〇人(うち実務家教員〇〇人)
16 2	(2) 目的 ① IIの「1 目的の記載」を踏まえ、法科大学院の目的を2,000字(横50字×縦40字)以内で記載してください。	16 2	(2) 目的 ① IIの「1 目的の記載」(12頁)を踏まえ、法科大学院の目的を2,000字(横50字×縦40字)以内で記載してください。
17 2	(3) 章ごとの自己評価 ① IIの「2 第1章～第10章の自己評価」を踏まえ、自己評価結果を基準ごとに原則として1,600字以内で記述してください。	17 2	(3) 章ごとの自己評価 ① IIの「2 第1章～第10章の自己評価」(12頁)を踏まえ、自己評価結果を基準ごとに原則として1,600字以内で記述してください。
19 上段	3 自己評価書イメージ(全体) ・法科大学院認証評価自己評価書(表紙) ・I 対象法科大学院の現況及び特徴(1頁)	19 上段	3 自己評価書イメージ(全体) ・法科大学院認証評価自己評価書(表紙) ・目次 ・I 対象法科大学院の現況及び特徴(1頁)
20 3	(1) 提出方法 ① 自己評価書 10部	20 3	(1) 提出方法 ① 自己評価書 20部
20 7	② 自己評価書の電子媒体 1部 1) . . . . ., MO又はCD-Rを提出してください。	20 7	② 自己評価書の電子媒体 1部 1) . . . . ., MO, CD-R, DVD-Rを提出してください。
20 13	2) . . . . . . . . . . ・漢字コードは、原則としてJIS第1, 第2水準の範囲で使用してください。また、機種に依存する文字は、できる限り使用しないでください。 (例) 単位記号, 省略文字, 囲み数字等	20 13	2) . . . . . . . . . . ・漢字コードは、原則としてJIS第1, 第2水準の範囲で使用してください。また、機種に依存する文字は、できる限り使用しないでください。 (例) 単位記号, 省略文字等
23 13	IIの2の「(2) 基準ごとの分析」(13頁参照) ① . . . . .。また、基準ごとに、ただ根拠となるデータを示すのみでなく、教育上の理念・目的等を踏まえることにより、個性や特色を表すように工夫し、記述してください。	23 13	IIの2の「(2) 基準ごとの分析」(13頁参照) ① . . . . .。また、基準ごとに、ただ根拠となるデータを示すのみでなく、教育上の理念・目的を踏まえることにより、個性や特色を表すように工夫し、記述してください。

頁 行	現行（平成17年度実施分）	頁 行	修正（平成18年度実施分）
27 例 示 説 明 文	<p>ここには、評価基準に示された基準ごとに自己評価を行う際に必要と考えられる資料・データ等の例示を記載してあります。これらはあくまで例示であり、必ずしも全く同じ資料・データを求めるものではありませんが、各法科大学院の目的に応じて、基準に係る状況を明確に記述されるよう、適宜、利用してください。なお、自己評価書の本文中に記載する際には必要最小限となるよう留意してください。</p> <p>また、各基準の細則となっている解釈指針には、「※」を付してありますので、当該基準の状況を分析する際、留意してください。</p>	27 例 示 説 明 文	<p>ここには、評価基準に示された基準ごとに、自己評価を行う際に必要と考えられる資料・データ等を、枠の中に例示してあります。ただし、別紙様式1～4は、例示ではなく根拠となるデータとして作成していただくものです。これら（別紙様式1～4を除く。）はあくまでも例示であり、必ずしも全ての資料・データ等を求めるものではありません。各対象法科大学院の目的や状況等に応じた資料・データ等を用意してください。</p>
53 ～ 56	<p><b>別 添</b> 別紙2（別紙様式1～4） ※現行様式を見え消し修正</p>		
61 注	<p>注1) <span style="background-color: #ccccff; border: 1px solid black; padding: 2px;">          </span>は、対象法科大学院から提出された自己評価書等から原則として原文のまま転載します。</p> <p>注2) 本評価報告書様式は、今後若干の変更が生じる可能性があります。</p>	61 注	<p>注1) <span style="background-color: #ccccff; border: 1px solid black; padding: 2px;">          </span>は、対象法科大学院から提出された自己評価書等から原則として原文のまま転載します。</p> <p>注2) 本評価報告書様式は、今後若干の変更が生じる可能性があります。</p> <p><u>注3) 当該評価報告書イメージは、予備評価の評価報告書には適用しません。</u></p>